

黛 丈夫 議員



問 上下水道の広域化・共同化は、具体的に進捗しているのか

答 茨城県を介して、関係機関との事務ベース会議を実施している状況である

平成 28 年度より一般質問等で度々取り上げられ、広域化等を推進するとの強い意思表示がされているが、具体的な方向性、計画が示されていないのでは。

問 計画案、課題、期限、費用等は。

上下水道課長 上水は、埼玉県水の全量受水等を含め検討段階であります。下水は、公共下水道と農業集落排水の統合を令和 11 年度末日途で進めています。上下水道とも計画がより具体化された段階で費用、期限等を含め説明させていただきます。

問 広域化に向け、国や茨城県他への働きかけは。

町長 国会議員や近隣首長をはじめ関係機関には、町の実情を説明しています。早期実現のためには、陳情活動等、どこへでも出向く考えであります。

問 道の駅ごか裏側用地 7,300㎡の取得の有効性は

答 魅力ある道の駅として、改修、拡張のために重要な用地と捉えている

厳しい町財政運営の中、土地利用や施設計画が示されずに土地取得ありきで進められていないか。土地や施設に数億円の多額投資が想定されるが。

問 周辺企業誘致が商業施設から製造・物流へと大方向転換されたが、計画の見直しは。

都市建設課長 実情を踏まえ、道の駅の拡充計画、土地活用等、有識者意見を参考に、

また、民間活力の導入も含め検討し、来年度までに構想をまとめて説明させていただきたいと考えています。

問 財源は。また、買い物弱者への改善につながるのか。

政策財務課長 町財政は今後も極めて厳しい状況になるが、民間活力の活用等、様々な手法を検討するとともに、事業全体への影響を含め、総合的に判断をしていきます。

産業課長 現在の道の駅にないサービスの拡大と利便性の向上で、買い物弱者に応えられると考えています。

問 将来の道の駅のあり方にどのように結びつけていくのか。

町長 町及び IC エリアの核として、事業展開の方策を検証し、新たな道の駅のビジョンを構築してステップアップにつなげていきたいと考えています。



道の駅ごか